



# APT WTDC-25第3回準備会合、ITU WTDC-25アジア太平洋地域準備会合及びITUアジア太平洋地域開発フォーラムの結果

総務省 国際戦略局 国際戦略課

## 1. はじめに

4年ごとに開催されるITU-Dの総会である世界電気通信開発会議の次回会合（WTDC-25、2025年11月17～28日@アゼルバイジャン）に向けて地域提案の調整を行うAPTの第3回準備会合（APT WTDC25-3）及びITUのアジア太平洋地域準備会合（RPM-ASP）が開催され、併せて、WTDC-22で採択された「地域イニシアチブ」や「キガリ行動計画」の執行状況等について対話を行うITUのアジア太平洋地域開発フォーラム（RDF-ASP）が、2025年3月に、タイ（バンコク）及びWeb会議でハイブリッド開催された。タイNBTCがホストを務めた。開催日程は次のとおり。

2025年3月17～18日：APT WTDC-25第3回準備会合  
（APT WTDC25-3）

2025年3月19日：アジア太平洋地域開発フォーラム  
（RDF-ASP）

2025年3月20～21日：アジア太平洋地域準備会合  
（RPM-ASP）

我が国からは、総務省国際戦略課成瀬国際交渉専門官等、NTTドコモ大槻氏、NICT今中氏が現地参加した。参加者総数は約230名（内、現地参加約160名）。近藤APT事務局長、ザバザバITU電気通信開発（BDT）局長、奥田ITUアジア太平洋事務局長、Boonbaichaiyapruck, Chairman of NTBCほかが参加した。

## 2. APT WTDC-25第3回準備会合 結果概要

### 2.1 検討体制

第1回会合で今会合に延期された副議長選出がされ、我が国からは成瀬国際交渉専門官が就任した。表1に示すように準備会合の体制が固まった。

### 2.2 地域イニシアチブ

地域イニシアチブ（WTDCの出力文書となり地域事務所の活動で参照される、各地域の優先事項を記載した文書）案の審議・ドラフティングにオフラインも含め最も多くの時間を使った。WG3議長大槻氏（NTTドコモ）がドラフティング議長を務めた。

合意された5つの項目のタイトル及び目的、また検討中のExpected Outcomeについて、RPM-ASPへの入力文書することが合意された。

### 2.3 研究委員会構成と研究課題

ITUの電気通信開発諮問会合（TDAG）下で次会期の研究委員会構成と研究課題を検討するWG FutureSGに対し、APT見解（APT View）を入力することを合意した。一部の国から提案されているAIの新課題設置はしないとしつつ、ITU-DでAIを扱うことを希望する意見に配慮し、研究課題の定義ではPP決議214に言及しつつAIに触れる、としている。（PP決議214は、AIの検討対象を電気通信/ICTに関するものに限定している。）

表1. APT WTDC-25準備会合 組織構成

APT WTDC-25 準備会合 組織構成	議長・副議長
プレナリー (会合全体の統括)	議長：Mr. Kila Gulo-Vui (Papua New Guinea) 副議長（第3回会合で決定）： Ms. WANG Ke (China), Mr. Avinash Agarwal (India), 成瀬由紀（総務省）, Ms. Mina Seonmin Jun (Republic of Korea), Mr. Nguyen Quy Quyen (Viet Nam)
WG1 (プログラム、研究委員会及び研究課題)	議長：Brig Gen Mohammad Khalil-Ur-Rahman (Bangladesh), 副議長：Mr. Sandeep Kumar Gupta (India)
WG2 (作業方法、宣言、行動計画、ICT開発全般)	議長：Dr. Maria Myutel (Australia) 副議長：Mr. Mohammad Farhan Alam (Bangladesh), Mr. Neeraj Kumar (India)
WG3 (地域イニシアチブ、ITU-D戦略計画、その他)	議長：大槻芽美子（ドコモ） 副議長：Ms. WANG Ying (P.R China), Ms. Nayeon Kim (Republic of Korea)

WG間の作業量を平準化するため、前会期準備会合ではWG3で扱った「ICT開発全般」をWG2が担当。WG3は、WG1及び2の担当外の事項があればそれも扱う。

## 2.4 WTDC決議

WTDC決議の改訂・新設に関する23件の入力文書を審議した。提案の多くに対して懸念点等の指摘があり、次回会合への入力を希望する場合は提案者を中心に引き続き検討をすることとなった。

1件、決議67（児童のオンライン保護）の修正（メンバ国の国家戦略に加え、政策や標準の策定も支援、など。）については、APT共同提案の候補とすることが合意された。

## 3. アジア太平洋地域準備会合 結果概要

ITU事務局から、WTDC-22で採択された「キガリ行動計画」の実施状況やアジア太平洋地域のデジタル開発状況について説明された。またTDAGの各WGから活動状況を報告した。

APT WTDC25-3で議論された地域イニシアチブを更に議論し、文書全体について合意するに至った。表2に項目を示す。

本会合の結果は、今後開催する地域間会合及びTDAGでの更なる議論を経た上で、WTDC-25へ入力される。

## 4. アジア太平洋地域開発フォーラム 結果概要

地域開発フォーラムは、WTDC-22で採択された「地域イニシアチブ」や「キガリ行動計画」の執行状況等について、電気通信開発局、加盟国及びセクターメンバー間で対話を行うフォーラムである。基本的に、毎年地域ごとに（6地域）開催され、アジア太平洋地域は、奥田ITUアジア太平洋事務所長が主導した。

ラウンドテーブル「地域のデジタル開発の課題と機会」では、成瀬交渉官が登壇し、我が国の拠出によるアジア太平洋地域のプロジェクトのプレゼンテーションを行った。

また、我が国の拠出により新たに開始予定の①レジリエンスプロジェクト（第3期）及び②ICTのためのAIプロジェクトについて、ITUと総務省でアナウンスした（図）。



■ 図. 手交式（左：成瀬国際交渉専門官、右：ザバザバITU電気通信開発局長）

## 5. 今後の日程

APT WTDC-25準備第4回会合は、2025年7月14～18日に予定されており、18日には続けて半日の予定で第1回PP-26準備会合が開催されることになっている。

第5回APT WTDC-25準備会合は、2025年9月15～19日の予定である。

## 6. おわりに

通常独立して開催されるAPT及びITUの3つの会合が、今回は1週間内で連続して開催された。ホストのタイNBTCの尽力に感謝する。引き続き、WTDC-25に向けた検討に我が国として貢献していきたい。

■ 表2. アジア太平洋地域イニシアチブ項目

アジア太平洋地域イニシアチブ項目
ASP1: Addressing special needs of least developed countries, small island developing states, including Pacific island countries, and landlocked developing countries
ASP2: Harnessing telecommunications/ICTs to support inclusive and sustainable digital transformation
ASP3: Fostering development of infrastructure to enhance digital connectivity and connecting the unconnected
ASP4: Enabling an innovative and sustainable telecommunication/ICT sector
ASP5: Supporting a safe, secure, and resilient telecommunication/ICT environment